



2021年3月1日

各 位

会 社 名 株式会社 **ラピーヌ**
代表者名 代表取締役社長 佐々木ベジ
[コード番号 8143 東証 第2部]
問合せ先 取締役常務執行役員経営統括本部長 尾崎史照
(TEL 06-6946-3600)

当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除についてのお知らせ

当社株式は、2021年2月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2020年12月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a（時価総額）に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りましたが、2021年2月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となりましたことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準に該当せず、猶予期間入りの指定が解除されることとなりました。

(ご参考)

①2021年2月の月間平均時価総額 1,063,620,184円

②2021年2月の月末時価総額 1,129,508,160円

(2021年2月28日終値 440円×2021年2月28日の上場株式数 2,567,064株)

2. 今後の見通しについて

当社グループが主力事業とするアパレル業界におきましては、新型コロナウイルスの影響により、極めて厳しい状況が続いており、現時点においてもコロナ禍の収束が見通せない中、当期の通期業績見通しにつきましては、2021年2月5日公表の「業績予想、棚卸資産評価損、営業外収益及び特別損失に関するお知らせ」のとおり、売上高50億円、営業損失21億円、経常損失19億円、親会社株主に帰属する当期純損失24億5千万円を予想しております。

今後におきましては、引き続き製造・仕入の抑制、不採算店舗の閉鎖、経費の削減に努めるとともに、2021年3月1日付で代表取締役社長に就任した佐々木ベジが、これまで多くの企業活性化を実現された経営手腕を発揮し、財務面、経営面から経営改革を推し進め、役員、従業員も一丸となって企業価値、収益性の向上に努めることで、東京証券取引所における上場を維持するよう最大限の努力を行う所存であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしました。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上